

新宮山彦ぐるーぷ第1927回―3

春季連休中の行仙宿への来宿者の対応と

笠捨山撒き道(旧通信道)補修と丸太椅子作り作業など

◇実施日：平成29年05月01日(月)～5月02日(火)

5月01日(月) 晴れ

◇参加者…川島 功、橋本 梓、山上皓一郎、生熊敏男、

山口泰宏。当番外応援者：青木宏充、塩川真武。7名。

午前中、川島、橋本両氏は旧通信道の補修に当たる。生熊氏は、「役行者像」開眼供養に出仕の聖護院一行が、使用する椅子用の丸太切り作業をする。

昼食後、川島、橋本両氏は行仙宿補給道沿い(登山口)の湧き水場への水汲みに向かう。

香芝市を8時30分に出発し、補給路登山口に11時30分に到着した山口は、一人で登山口付近にて弁当を食べ終え、登って行くと、鉄塔付近で水汲みに下りてきた両氏とすれ違う。山口は12時50分に行仙宿に到着し、生熊氏の丸太椅子づくりを手伝う。

水汲みを終え戻った川島、橋本両氏は、14時頃に下山する。

生熊、山口が、椅子づくり用の丸太をチェンソーで切っている
と連休中の宿当番予定になかった青木さんが14時半前に突然
現れ作業を手伝ってくれる。

チェンソーの調子が朝から悪く思うように作業がはかどらな
い中、何とか7個の椅子を完成させる。

塩川君も15時頃に行仙宿に到着。聞くところによると、玉置
神社を出発し、連休に吉野まで行くとのこと、今日は行仙宿に
宿泊すること。

夕食は、野菜の天ぷらを主に管理棟で山上、生熊、山口、青木、

塩川でいただく。

当日の来宿者は、6名(男性のみ)。

尚、13時30分頃、玉置神社に向かつて登山している大阪か
ら来られた女性が行仙宿に立ち寄りたのでコーヒーを提供した。

5月02日(火) 快晴

◇参加者…山上皓一郎、生熊敏男、山口泰宏、塩川真武。4名。

前日宿泊された6名の来宿者は、4時から4時30分頃の間に
出発された。

青木さんは、午後から仕事があるとのこと、6時過ぎに行仙
宿を下山。

8時過ぎに、山上さんに昨夜の食器等の片づけをお願いし、生
熊、山口、塩川は、補給路登山口の水場の水汲みに向かう。

水汲み終了後、山上、塩川、生熊氏は、宿舎の毛布棚の毛布が
乱れていたのを、全部出して綺麗にたたみ直してもらい、山口は
昼食の準備にかかる。



たたみ直した下敷き毛布



たたみ直した上用毛布

この間も数名の登山者が行仙宿に来られたが、先を急いでいる
とのことで、そのまま休まずに通過された。

10時過ぎに、現在横浜で勤務しているが、連休で三重の実家に帰省したので奥駆道に挑戦していると、行仙宿に立ち寄られた方にコーヒーを提供した。また、11時10分頃、玉置神社に向かつて登山している名古屋から来られた方が、行仙宿入口で休んでおられたので、声をかけ昼食を一緒に取る。

野菜炒め、めざし等を提供したところ、4日程インスタントの食事ばかりで久しぶりに野菜もたくさん取れたと喜んでおられた。昼食後、11時50分に玉置方面へ出発された。

塩川君も11時55分に出発された。塩川君には、先を急ぐのに朝から昼食後まで色々とお手伝いをしていただき、ありがとうございます。今日は持経宿に泊まるとのこと。吉野まで無事に登山できるようにと見送った。

山上、生熊、山口は、昼食後の片づけと宿内を見回りと宿内の掃除等をして、12時50分に行仙宿を出発し、補給路登山口に13時36分到着した。

5月17日に行仙宿・行者堂で執り行われる「役行者像」修復開眼供養の場で再会することを約束して解散。

(記 山口)